

わらしべの里



～限りない可能性を信じて～

社会福祉法人 わらしべの里
多機能型事業所 わらしべの家



～わらしべの里の歩みと名前の由来～

— これまでの歩み —

- 昭和50年（1975年）2月「とちぎ子どもの家」を発足しボランティア活動を開始。
「地域の子どもと障害児の遊びの文化活動を標榜」する。毎週、土・日曜に
障害児を含めた大勢の子供や青年たちがつどい、共に遊んでいた。
- 昭和52年（1977年）4月「チビッコハウス」が完成。
- 昭和53年（1978年）3月「つくしの会」が発足。
- 昭和54年（1979年）12月「社会福祉法人社会福祉事業研究開発基金」殿より50万円助成金を受ける。
- 昭和55年（1980年）4月 金坂の私財を基に「財団法人わらしべの里」を発足。同時に無認可施設として
「障害者福祉作業所わらしべの家」を開所し利用者3名から事業を開始。
- 10月 S T V札幌テレビ放送「サンデー九（故・坂本九さんがパーソナリティーの番組）」の
取材を受け、坂本九さんご本人が来所され仲間達と交流する。
- 昭和59年（1984年） 「財団法人日本宝くじ協会」殿より3,000万円の配分金を受け、耐火構造建築への
施設立替工事を行う。（鉄骨コンクリート 一部プレハブ構造2階建）
- 平成13年（2001年）10月「社会福祉法人」の法人格を取得。
「知的障害者小規模通所授産施設わらしべの家」を開所。
- 平成14年（2002年）5月 施設改修工事実施（設備及び運営に関する最低基準対応工事）。
- 平成14年（2002年）10月「知的障害者小規模通所授産施設」から「知的障害者授産施設」へ変更。
(通所型・定員25名)
- 平成15年（2003年）4月「知的障害者短期入所事業」及び、「児童短期入所事業」を開始。
(日中預かり・定員3名/日【両事業計】)
- 平成16年（2004年）1月「第1回グループホーム学習会」を開催。同時に「グループホーム開設準備会」を
設置しグループホーム開設プロジェクトをスタートさせる。
- 平成17年（2005年）4月 グループホーム「わらしべの宿」開所。（定員5名・主世話人1名・副世話人1名）
- 平成18年（2006年）4月「わらしべの家第2作業所」改修。バイオディーゼル事業開始。定員30名へ変更。
- 平成18年（2006年）9月 短期入所事業終了。
- 平成18年（2006年）10月 日中一時支援事業開始。
- 平成19年（2007年）3月 グループホーム「わらしべの宿」運営終了。
- 平成23年（2011年）4月 就労継続支援事業（B型）に移行する。（定員35名）
- 平成26年（2014年）4月 指定特定相談支援事業所わらしべの家を開設。
- 平成30年（2018年）10月 生活介護事業（定員14名）を新たに開設し、就労継続支援事業B型の定員35名を定員20名へと変更
し、多機能型の事業所となる。

— 名前の由来 —

昭和51年（1976年）1月

当時、栃木県社会福祉協議会に勤務し地域福祉を担当していた金坂直仁が、自宅の庭先に地域の協力を得、『とちぎ子どもの家』というボランティアによる組織活動を開始しました。

休日ごとに多くの人々が集い、障害のある・なしに関係無く、また、老若男女を問わず多くの人々の憩いの場や地域の人々の交流の場となるための活動を開始しました。このためのプレハブの建物の基礎工事には、近所の父親10名ほどが協力して施工して頂きました。

金坂の『地域の子どもと遊びの文化活動を』という声に対し、多くの若いボランティア（地元の大学生や医科大学の医学生、看護学生などが中心であった）が子ども達のお兄さん、お姉さん役となり一緒に遊んでいました。また、子どもたちの家族と共に2泊3日のキャンプやハイキングを行うなどアウトドア活動も盛んでした。

在宅障害者支援活動として“障害者福祉作業所”の運営を行うため、昭和54年（1979年）4月に『財団法人わらしべの里』を創設しました。“土地無し金無し”の中からのスタートではあったが、「いずれはみんなが幸せに！」という熱い想いを実現させるべく、“たとえ小さな活動でも、コツコツと地道に人々のために働くことにより、いずれは皆が幸せになればいい”という考えから、法人の名称を『わらしべの里』とし、障害者福祉作業所の名称を『わらしべの家』と付けました。

この『わらしべの里』という名前は、日本の民話『わらしべ長者』からもらったものです。このおとぎ話は、1200年も前の「今昔物語」にある仏教説話のひとつだったとのこと。

こうして、『財団法人（現：社会福祉法人）わらしべの里』、
『障害者福祉作業所（現：多機能型事業所）わらしべの家』が生まれました。

— わらしべの家 生産活動内容 —

I. 主な事業について

- ① 請負事業 (各種企業から請負作業をしています)
- ② リサイクル事業 (アルミ缶リサイクル作業・バイオディーゼル精製作業)
※ 企業の請負を中心とした作業を行い、就労への意欲向上と人材育成を
目的とした福祉的就労を行っております。
- ③ 自主製品事業 さをり織り(織り、織りまでの工程技術の取得など)
- ④ IT事業パソコン工房 (ホームページ製作作業、名刺・機関紙作成作業、オリジナル絵はがき販売)
- ⑤ 農作業(植え、収穫、販売など)
※ 自主製品生産活動と、自主製品販売活動を中心に地域への社会参加と
福祉的就労作業を行っております。

II. その他

栃木市委託作業として市内の公園清掃作業などの活動を行っております。

わらしべの家では随時、各種の請負作業や、当施設利用者の職場体験実習を受け付けています。

— わらしべの家の主な地域交流活動について —

- ①自治会主催の敬老会開催時の施設の会場提供
毎年開催される「堀の内自治会 敬老会」に会場の提供。
- ②栃木市立東陽中学校廃品回収への協力
- ③自治会草むしり活動への協力



— 社会福祉法人わらしべの里・概要 —

- ①事業区分 「第2種社会福祉事業」
- ②法人名 「社会福祉法人 わらしべの里」
- ③役員名 「理事長 大橋誠・管理者(施設長) 金坂尚慶」
- ④施設名称 「わらしべの家」
- ⑤実施事業 「就労継続支援事業(B型)」(定員20名)
「生活介護事業」(定員14名)
「日中一時支援事業」
- ⑥所在地 栃木県栃木市大宮町2708番地3
- ⑦電話 0282-27-1627
- ⑧FAX 0282-27-1675
- ⑨開所日 平成23年4月1日
- ⑩職員数 <わらしべの家>
管理者(施設長)1名・サービス管理責任者1名・職業指導員3名
生活支援員2名・目標工賃達成指導員1名・看護師2名
- ⑪ホームページアドレス
<http://www.cc9.ne.jp/warashibenosato/>
- ⑫メールアドレス
Warashibenosato@cc9.ne.jp



この建物は、平成18年4月にオープンした第2作業所です。
日本財団より2,010万円の補助金を受け改修いたしました。

～わらしべの家の生活～

— 1 日 の 流 れ —

～午 前～

- ・ 8時50分～9時00分 ◇出勤
- ・ 9時00分～12時00分 ◇作業開始
- ※休み時間 10:30～10:45

～午 後～

- ・ 12時00分～1時00分◇昼食・昼休み
- ・ 1時00分～3時30分◇作業
- ※休み時間 2時30分～2時45分
- ・ 3時30分～3時50分◇後片付け・清掃時間
- ・ 3時50分～4時00分◇帰りのつどい・帰宅
- ※スケジュールの関係により日程を
変更することがあります。

☆ 主な年間行事 ☆

- 4月 お花見
- 7月 七夕祭り
- 9月 栃障協：日帰り旅行
- 10月 栃障協：スポーツ大会
- 12月 クリスマス会
- 1月 新年を祝う会
- 2月 節 分
- 3月 ひな祭り

- ※毎月、誕生会があります。
- ※スケジュールの都合上日程が
変更することがあります。
- ※行事によっては個別に費用が
発生することがあります。



～わらしべの家の目標～
 わらしべの家は、利用者の方の人権を擁護するとともに、利用者の方の幸せと尊厳の向上のために必要な福祉サービスを提供します。
 そして、それぞれの利用者の方が生活するその地域で、より良い社会生活を送ることができるよう、その能力や個性に応じた自立と自律を支援することを目標とした支援活動を行っています。



わらしべの里からのお知らせ！！

— わらしべの家のみんなといっしょに働きませんか？ —

- 1.利用者に対して、その自立と社会経済活動への参加を促進する観点から、就労の機会を提供するとともに、通所により生産活動その他の活動を通して、知識及び能力向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効率的に行い、一般就労に必要な知識・能力が高まった利用者は、一般就労への移行に向けて支援します。
- 2.利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場にたって事業支援を提供するよう努めるものとします。できる限り居宅に近い環境の中で、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、市町村、指定障害者支援施設や指定障害者福祉サービス事業を行う者、その他の保健医療サービスまたは福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めるものとします。
- 3.主な生産活動には、各企業からの「請負作業」と企業と連携した「リサイクル作業」があり、「自主製品作業」としては、「さをり織り」・「パソコン作業」ならびに「農作業」があります。

☆全職員のチームワークで、より深い人間的な福祉サービスを提供できるよう、日々努力しています。

— ボランティア募集しています！！ —

●わらしべの家には主に次の4つの事業（作業）があります。

- ①請負事業（プラスチック部品組み立て作業・袋詰め作業・苅作業）
- ②リサイクル事業（空き缶回収作業・食用油精製作業）
- ③自主製品事業（さをり織り・農作業）
- ④IT事業（パソコン作業）

※ 以上4つの事業（作業）のうちからお選びいただけます。

なお、利用者の人数や作業機材の関係からご希望にそえないこともございますのでご容赦ください。



●服装について

服装は基本的に自由ですが、汚れてもよい服装・動きやすい服装を心がけてください。
また、エプロンやマスク・手袋などをお持ちいただいても結構です。

●持ち物や食事について

- ①施設にはスリッパはご用意しておりますが、上履きなど作業しやすい履物をご用意いただければ安全に作業が行えると思います。（第2作業所は土足で可）
- ②手荒れ・肌荒れ、アレルギーなど身体に配慮の必要がある方は事前に職員にご相談下さい。作業内容を考慮させていただきます。
- ③わらしべの家での昼食をご希望される方には、給食費として 1食 628円 がかかります。

●その他

- ①ボランティア・体験実習をご希望の方は事前にお電話かメールにてお申込み願います。（1週間程度前をお願いします）
- ②お車でお越しの方は第2作業所前の駐車場へご駐車ください。
- ③施設内は全館禁煙です。喘息などの内部機能障害・疾患者がおりますのでご協力願います。
- ④利用者の方の個人的な情報は外部には一切話さないで下さい。これを「守秘義務」といいます。

～わらしべの里までの交通アクセス～

お車でお越しの場合

- 東北自動車道 栃木インターから約10分
- 北関東自動車道 都賀インターから約10分



この看板が目印です

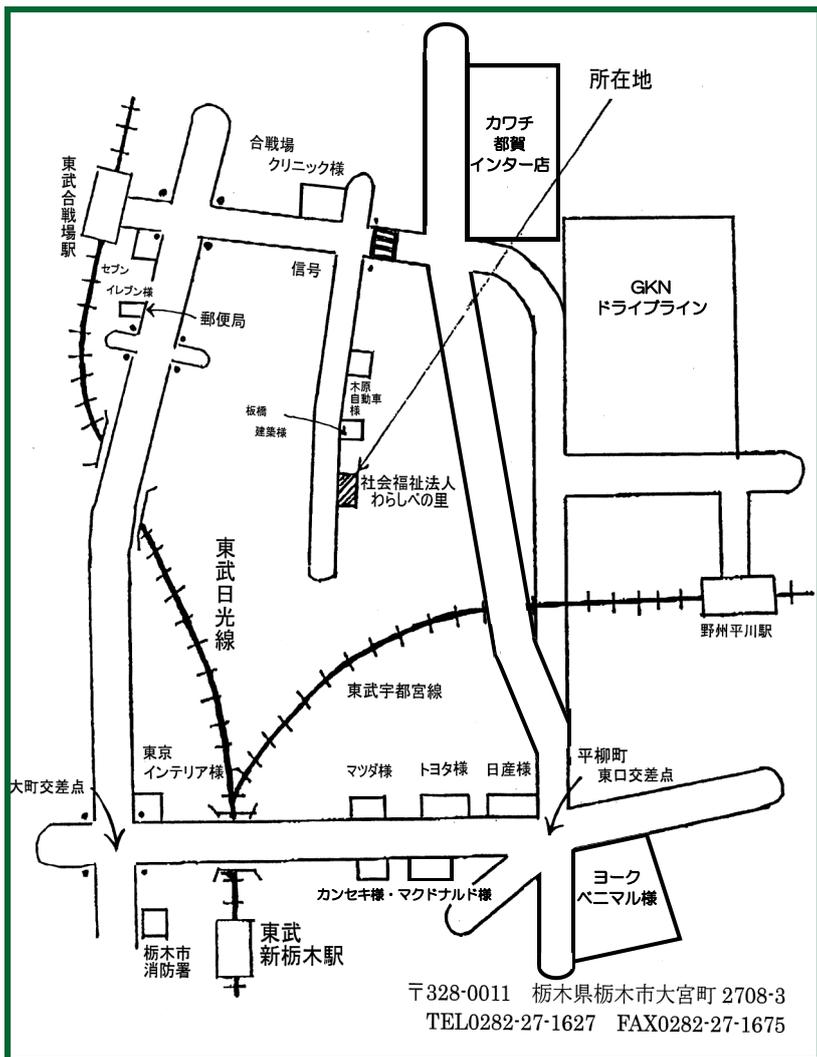
駐車場のご案内



- わらしべの家第1作業所を100メートルほど北へ進み、細い十字路を右折して20メートル先の右側にある建物が第2作業所です。ここにご駐車願います。

電車でお越しの場合

- 東武日光線合戦場駅より徒歩で約15分
- 東武宇都宮線野州平川駅より徒歩約20分



〒328-0011 栃木県栃木市大宮町 2708-3
TEL0282-27-1627 FAX0282-27-1675

お気軽にご相談ください

社会福祉法人わらしべの里

〒328-0011

栃木市大宮町 2708-3

お問い合わせ

施設利用や見学など総合受付・・・・・・・・・・ TEL 0282-27-1627
FAX 0282-27-1675

◆<http://www.cc9.ne.jp/~warashibenosato/>◆

◆Warashibenosato@cc9.ne.jp◆